令和元年度 自己評価書

学校名	和歌山市立大新小学校
校長氏名	村上 和彌
作成日	令和 2年 2月 21日

1 教育目標

豊かな情操とまろやかな英知を育み、たくましく生きる子どもを育てる

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・県学習到達度調査における基礎の正答率について県平均を目指す。 ・児童アンケートの「私は毎日の勉強がわかる」の項目で「あまりそう思わない」0% 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケートの「私は学校が楽しい」の項目で「あまりそう思わない」0% ・保護者アンケートの「生命の大切さや社会のルールを守る態度の教育」の項目で「そう思う」40% 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツテストの「シャトルラン」の項目で県平均を上回る ・保健室が実施する元気大作戦(生活アンケート)で、運動や体を動かす遊びの達成率90% 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートの「学校の様子を、わかりやすく伝えている。」の項目で「そう思う」40% ・地域や公民館などと連携した取り組みを、各学年1つ以上実施
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な形での話し合い活動、授業のまとめとしての書く活動を意識的に取り入れることができた。 ・県社会福祉課と地域の老人クラブの協力で、月1回程度大休憩に図書室の整理と開放を行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが互いに協力し、特に高学年が低学年への思いやりの気持ちをもって、なかよし活動を進めていくことができた。 ・市教育委員会の客員指導主事を講師に招聘し、道徳の提案授業を中心に、研究を深めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なかよし活動を通して、積極的に体を動かす取り組みを行うことができた。 ・養護教諭を中心に、アンケートや保健活動を軸に、健康への意識を高める指導に取り組むことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりの掲載を中心に、月に一回以上のホームページの更新を行った。 ・運営協議会委員の大新地区公民館長さんの協力で、公民館教室の体験を全学年で実施することができた。
取組の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・県学習到達度調査における基礎の正答率は4年生は2教科とも上回ったが、5年生は3教科とも上回った。 ・休憩時間や放課後の時間を利用して、未提出の宿題に取り組ませたり、課題について個別に指導をしたりした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日のなかよし活動、運動会や赤十字奉仕活動などを通して、相手を思いやり慕ったりする気持ちを醸成することができた。 ・9月には人権をテーマにした授業参観、11月にはSNSと人権にかかわる講演会を実施することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なかよし活動で、マラソンと長縄跳び、また児童がグループで話し合っただけで外遊びなどに年間を通して取り組むことができた。 ・校内放送や保健だより、直接の保健指導などを通して、児童や保護者に健康に関する啓発を行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館活動以外にも、外部講師による大新太鼓の指導、各種教室を数多く実施することができた。 ・地域老人クラブや独居老人の方との交流、音楽会への招待など、地域との交流を進めることができた。
取組の成果と課題(評価)	<ul style="list-style-type: none"> ・県学習到達度調査は、5年生のC、D層の割合が3教科とも60%以上あり、また「私は毎日の勉強がわかる」の項目で「あまりそう思わない」児童が9%いる。低学力や理解が進んでいない児童に対する支援が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「私は学校が楽しい」の項目で「思わない、あまりそう思わない」が7%であった。 ・「生命の大切さや社会のルールを守る態度の教育」で「そう思う」が30%であった。「まあそう思う」が63%の評価をいただいたので、もう一歩踏み込んだ取り組みをしてきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シャトルランは6年男、4年女以外、すべて県平均を上回ることができた。 ・元気大作戦で、5月では運動や体を動かす遊びの達成率が90%を超えたが、9月1月では届かなかった。特に冬場に外遊びが減る傾向にあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校の様子を、わかりやすく伝えている。」の項目で「そう思う」は27%であった。「まあそう思う」が67%の評価をいただいたので、もう少し工夫した発信が必要である。
改善方法	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題を確実に仕上げているように指導するとともに、学力向上タイムが有効に使えるよう、個別の課題や理解の程度に沿った指導を考えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの様子をより深く観察し、子どもの気持ちに寄り添いながら、全員が楽しいと感じてもらえるような学校を目指していく。 ・必要な場面ですぐに指導をしたり、関連する教材で学習をしたりして、子どもの人権意識を高める取り組みを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力や健康への意識は一朝一夕で身につくものではない。今年度の取り組みに満足することなく、特に寒い季節でも外で楽しく過ごせるように、更なる体力や健康の向上を目指して取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりの学校行事のことだけでなく、日頃の子どもの様子や出来事などについて積極的に発信できるようにしていく。

3 その他の課題

外国籍の保護者の児童、学童保育の施設から区外特認で通学する児童が増加してきている。保護者の帰りが遅く、生活リズムが不安定になりがちで、朝起きられなかったり連絡がつきにくかったりすることも多くなってきている。宿題が十分にできていなかったり、家庭で学習を見てもらえなかったりするので、学力にも当然影響してきている。担任が放課後等を使ってできる限りフォローしているが、生活リズムも学習内容もなかなか定着させることができなくなっている。